

山陰近畿自動車道の早期供用に関する

# 要 望 書

平成 30 年 11 月

山陰近畿自動車道整備推進協議会

山陰近畿自動車道は、3府県を結ぶのみならず、日本海側唯一の高規格幹線道路網の空白地帯を解消し、日本海国土軸を形成する重要な道路です。

平成30年7月豪雨においては、山陽自動車道や中国自動車道の瀬戸内側の通行止めに伴ってミッシングリンクが多数存在する日本海側への迂回が必要となったところであり、南海トラフ地震等の大規模災害時に備えて、日本海国土軸の早期整備によって安全かつ円滑な物流を確保し、広域的なネットワークの多重性・代替性を強化することは喫緊の課題です。

また、鳥取県・兵庫県・京都府の日本海沿岸地域では、風光明媚で豊かな自然環境を背景とした観光・農林水産資源を最大限に活かす地方創生に取り組んでいます。高速道路整備の進捗と、これら地域の取り組みが呼応し合い、観光入込客数の増加や新たな企業の進出など、地域間の交流や産業の活性化が進みつつあり、「多大なストック効果」をもたらしています。

こうしたストック効果を最大限発揮させるためには、日本海沿岸に点在する観光拠点間の周遊性を更に高め、地域・民間とのより一層の連携により観光資源の潜在力を十分に引き出すことが重要です。さらに、当地域の水産業においては、京阪神など大都市圏への輸送力を強化し、水揚げされたズワイガニなどの新鮮な魚介類をいち早く届けることで、競争力を向上させることが可能となります。

加えて、高齢化率の高い当地域における3次救急医療機関等への迅速な搬送による地域住民の安全・安心を確保し、生活の質を向上することが求められています。

このようなことから、山陰近畿自動車道は、以下の課題の解決を図るために必要不可欠な道路です。

- ① 大規模災害時のリダンダンシーの確保
- ② 山陰海岸ジオパークをはじめとする広域観光交流圏の拡充・強化、交流人口の拡大
- ③ 日本海沿岸地域の産業活動の発展と企業立地の促進
- ④ 地域と医療拠点をつなぐ命の道ネットワークの確保

山陰近畿自動車道の整備にあたっては、地元の理解や協力を得ながら、事業が円滑にかつ着実に進むよう3府県が連携して取り組んでいます。浜坂道路Ⅱ期の新規事業着手など、着実な事業進捗について厚く御礼申し上げます。引き続き早期供用に向け、次の事項について強く要望します。

## 1 事業中区間の予算確保

- (1) 岩美道路 : 事業推進に必要な予算確保
- (2) 浜坂道路Ⅱ期 : 事業推進に必要な予算確保
- (3) 大宮峰山道路 : 直轄権限代行事業の促進及びアクセス道路の事業推進に必要な予算確保

特に、3区間の一日も早い完成に向け、重点的な配分や補正予算の編成により事業を促進すること。

## 2 未事業化区間の早期事業化

未事業化区間の早期事業化に向け支援すること。

- (1) 鳥取～福部 : 計画段階評価の促進及び早期事業化
- (2) 佐津IC～豊岡北JCT・IC : 調査費の予算確保
- (3) 豊岡北JCT・IC～城崎温泉IC : 国による調査の実施
- (4) 城崎温泉IC～府県境 : 直轄権限代行による事業化
- (5) 府県境～網野IC : 未調査区間の国による調査の実施
- (6) 網野IC～大宮峰山IC : 国直轄による早期事業化

## 3 重要物流道路の指定

山陰近畿自動車道を重要物流道路に指定し、広域道路ネットワークとして機能強化を図るとともに、重点支援による整備の加速を図ること。

## 4 道路関係予算の総額増加

山陰近畿自動車道をはじめ、真に必要な道路の整備や老朽化対策などを着実に推進、実施するため、新たな財源の創設を含め、道路関係予算の総額を増加すること。

平成30年11月13日

山陰近畿自動車道整備推進協議会

会 長 京都府知事 西脇 隆俊

兵庫県知事 井戸 敏三

鳥取県知事 平井 伸治